

演 題 1

間葉系幹細胞の培養に適した培養表面と使用例

間葉系幹細胞の培養では様々な培養表面が用いられています。コーニングが提供する培養表面には、プレートの素材であるポリスチレンに酸素導入により官能基を付与したCorning® CellBIND® surfaceや、幹細胞の培養に用いられるビトロネクチンの部分合成ペプチドであるCorning Synthemax®-II などがあります。今回はその特長や使用例をご紹介します。



スピーカー

コーニングインターナショナル株式会社
ライフサイエンス事業部 江藤 哉子

演 題 2

臨床研究に向けた間葉系幹細胞大量培養の最適化を目指して

StemFit For Mesenchymal Stem Cell (MSC) は、高い性能、安定性、安全性を兼ね備えた間葉系幹細胞 (MSC) 用の拡大培養培地です。培地組成中に、ヒト由来成分 (血清成分、血小板溶解物等) を含まないため、ロット間の性能差が少なく、安定した細胞培養が可能です。MSCの培養において、本培地は従来の血清添加培地に比べ、高い増殖性能を発揮します。また、PMDAの再生医療等製品材料適格性確認書を取得しています。このStemFit For MSCとコーニングのCellBIND表面やCorning Synthemax-IIとの組み合わせにより、組織からの効率的なMSC単離や臨床研究に必要な量への細胞拡大培養が実現可能です。本ウェビナーでは、その事例をご紹介します。



スピーカー

味の素株式会社 バイオ・ファイン研究所 マテリアル & テクノロジーソリューション研究所
再生医療・細胞治療支援グループ 原田 英里

日 時

2021年11月18日(木) 15:00~16:00

参加 申し込み方法

コーニングライフサイエンスのウェビナーのページから
当セミナーを選択の上、**事前登録**してください

参加無料
事前申込制



コーニングライフサイエンスのウェビナーのページ

<https://www.corning.com/jp/jp/products/life-sciences/resources/webinars.html?commid=507134>



※セミナーは BrightTALK のシステムを使用して行います。視聴には BrightTALK への登録 が必要となります。登録画面は英語ですが、セミナーは日本語で行います。

本セミナーお申込みの際に入力いただきました個人情報は、コーニングインターナショナル株式会社と味の素株式会社とで共有させていただきます。またその情報は、質問の回答および CORNING NEWS などのお知らせメールの配信を含む弊社および味の素株式会社の営業・マーケティング活動に使用させていただきます。
【コーニングのプライバシーポリシー】 https://www.corning.com/jp/jp/about_us/japan_privacy_policy.aspx
【味の素のプライバシーポリシー】 <https://www.ajinomoto.co.jp/privacy/>